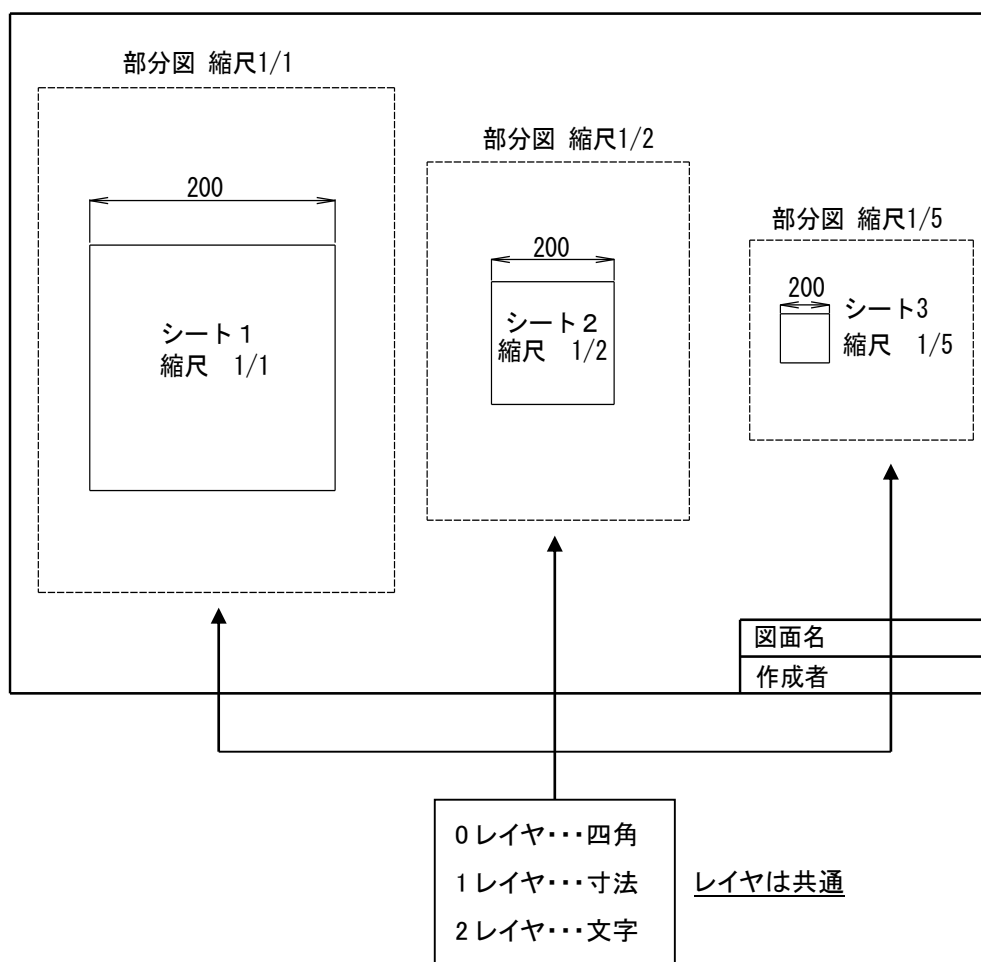


# レイヤとシートの関係について

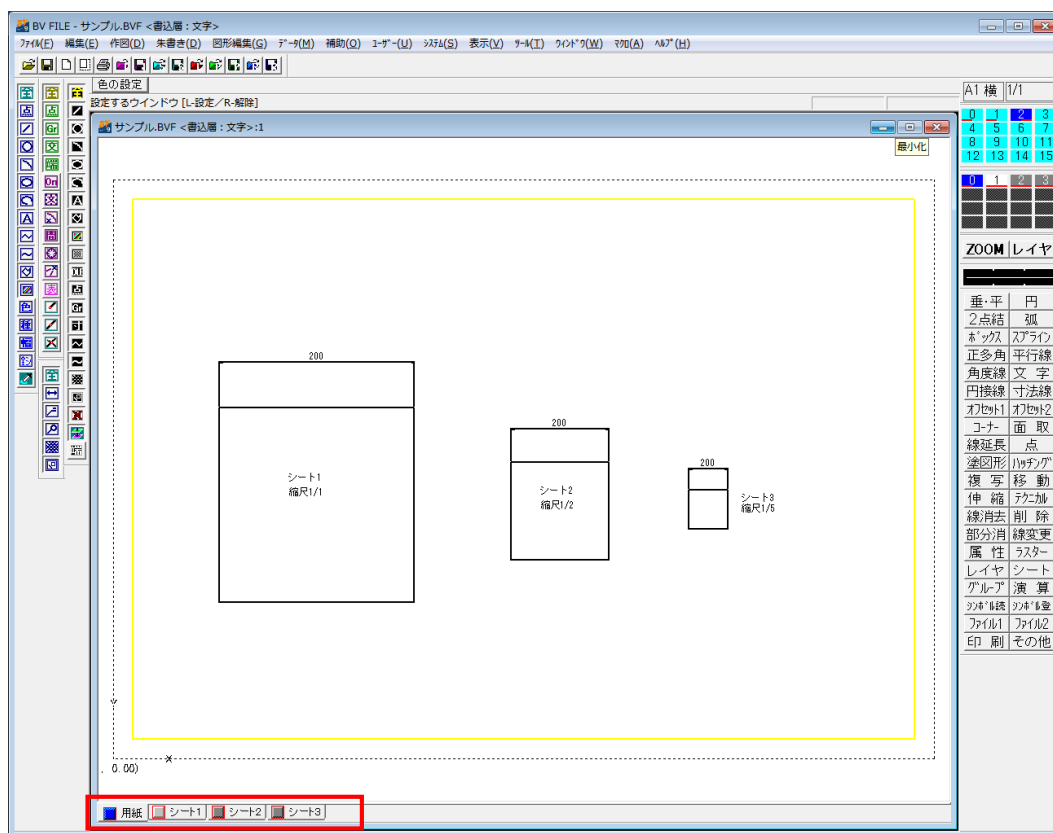
## 1. 部分図について

SXF では図面の管理は「レイヤ」と「部分図」の2つになります。「レイヤ」は通常通り作画する場所です。「部分図」とは縮尺を設定する場所です。「レイヤ」には縮尺を持っていません。

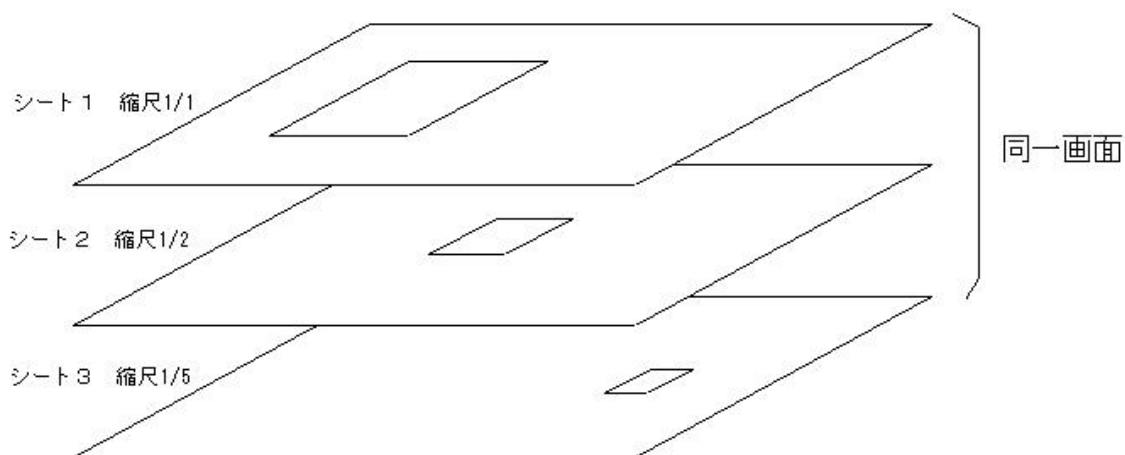
一つの図面に複数の縮尺の図形を表示させる場合、まず縮尺を設定した部分図(シート)を作り、その中に通常通り(レイヤ毎に)図形を描きます。レイヤは各部分図で共有します。AutoCAD で言う「ビューポート」に近い概念です。



BV シリーズでは「部分図」を「シート」と呼んでいます。画面下に「用紙」、「シート1」、「シート2」というタブがあります。これが「シート(部分図)」です。

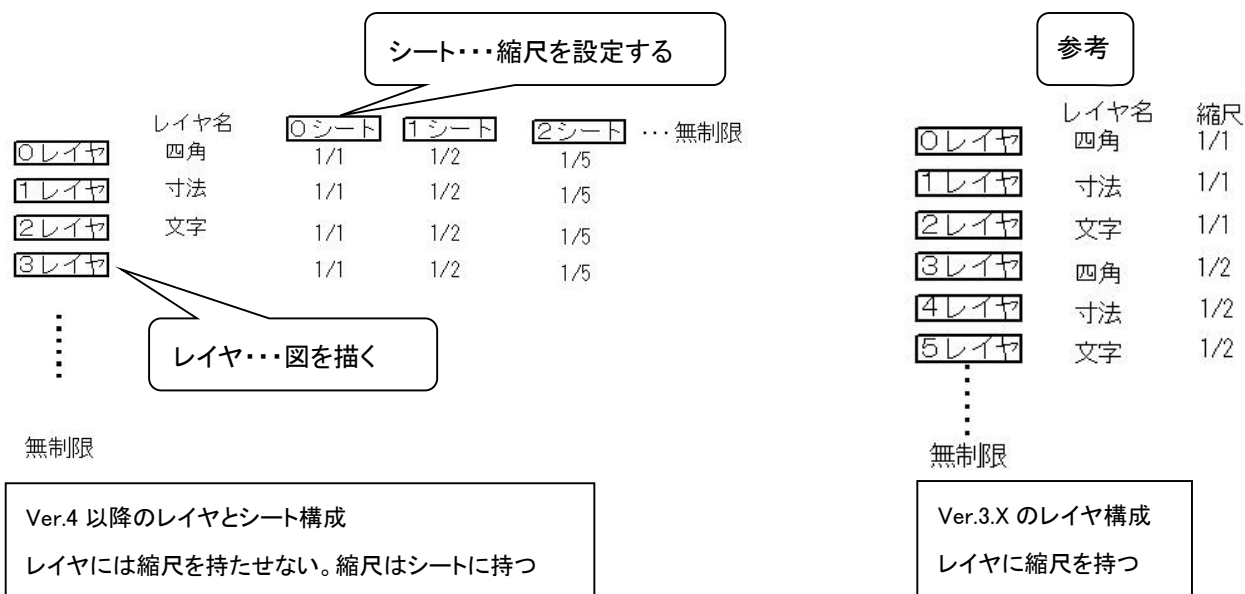


BV シリーズでは、シートに縮尺を設定します。複数の縮尺がある場合は[シート]-[一覧操作]でシートを追加し、それぞれの縮尺を設定します。



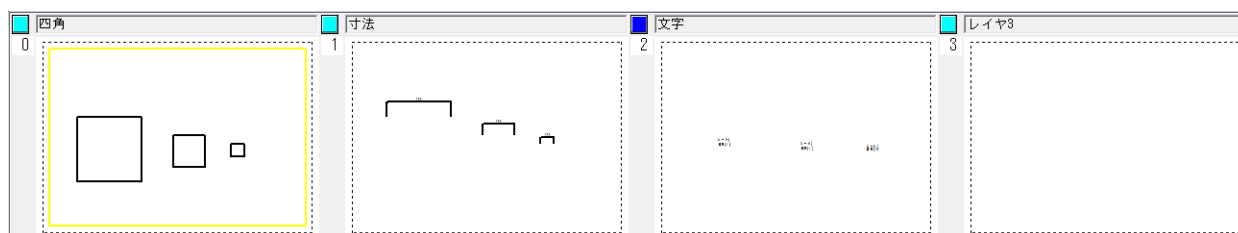
## 2. レイヤとシートの関係について

レイヤとシートの関係は下右図のようになります。1つのレイヤに対して複数のシートを持たせることができます。



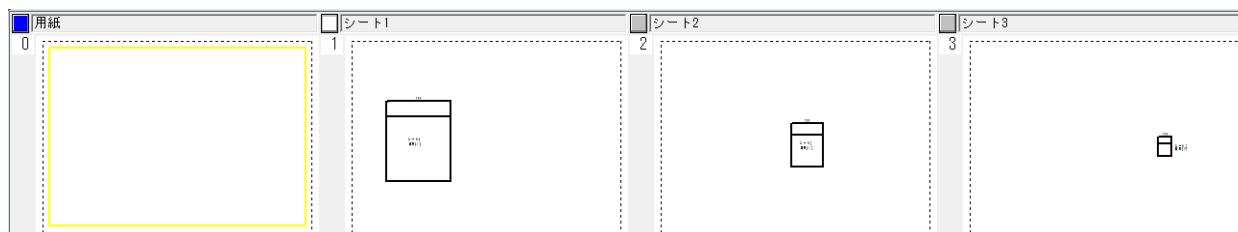
上図の例で説明しますと、縮尺の違う「四角」を描く場合、0レイヤに1/1シートと1/2の縮尺シート、1/5の縮尺シートの「四角」を描きます。

[レイヤ]-[分割表示]でレイヤの一覧を表示します。



レイヤごとに描かれた図形がそれぞれの要素ごとに一覧表示されます。レイヤには縮尺がありませんので、1/1、1/2、1/5の縮尺シートに描かれた図形が同じレイヤ名ごとにまとめて表示されます。

[シート]-[分割表示]でシートの一覧表を表示します。



シート(縮尺)ごとにまとめて表示されます。

## 3. 「用紙」シートについて

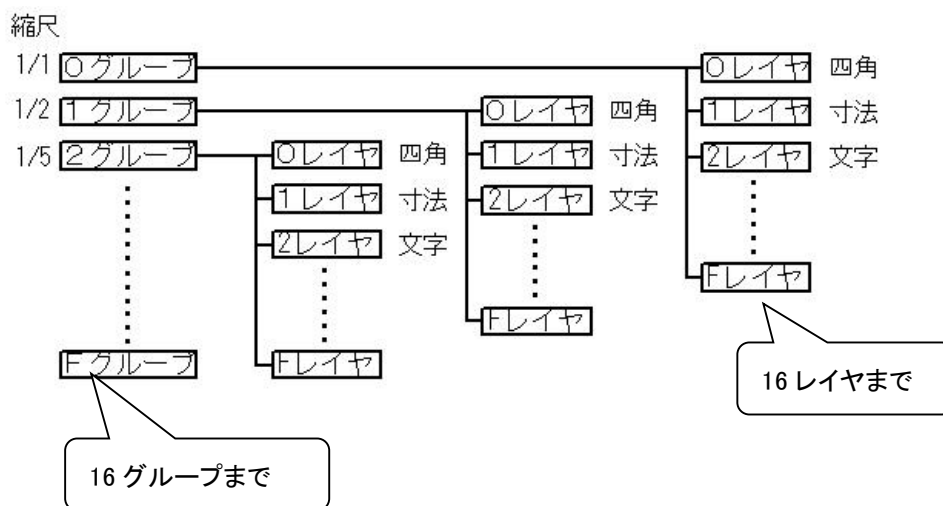
「用紙」シートは図面枠を描く専用のシートです。1/1に固定されています。「CAD 製図基準(案)」では図面枠の余白、表題欄のサイズは現寸で規定されています。

#### 4. JW\_CAD レイヤ構成について

JW\_CAD のレイヤは 1 グループにつき 16 レイヤまでしかありません。縮尺はグループごとに設定します。

縮尺の違う「四角」を描く場合、グループごとに縮尺を設定し、各グループに「四角」「寸法」「文字」のレイヤが必要となります。

JW\_CAD のグループとBVシリーズのシートとは同じものではないので、ご注意ください。



BV のデータを JW\_CAD 形式に変換する場合、16 レイヤ以降に描かれた図形は 16 レイヤにまとめて出力されます。

これは JW\_CAD が 1 グループにつき 16 レイヤまでを上限としているためです。

